



YOUTH

第31回日本クラブユース選手権(U-18)

出場記念特集

あふれる思いを込めて さあ、全国大会がスタート!



ヴィレッジでの独特な雰囲気も楽しみたい(第29回大会から)



レッズサポーターも応援に駆けつけてくれるはず(第29回大会から)

第31回日本クラブユース選手権(U-18)が7月28日(土)から始まる。2年ぶりの出場となる浦和レッズユース。U-18の全国大会には初めて出場する選手ばかりで、今季のチームは例年より1年生、2年生のメンバーが多い。プリンスリーグを含め、今季まだ勝っていない関東のチーム、初めて顔を合わせる各地方のチームなど強豪がひしめく中、自分たちの力をフルに発揮し、さらにステップアップすることができるか。課題は同時に楽しみでもある。また、わずかのところで獲得を逃がした高円宮杯出場権を得るという目標もある。さまざまな思いを込めた大会がもうすぐスタートする。

粘り強さが身上、フィニッシュを決めて優勝を目指す

監督 堀 孝史



昨年出場を逃がしていることもあって、今回の日本クラブユース選手権にはどうしても出場したいと思っていました。

勝てば全国が決まる、関東2次リーグ4試合目の川崎戦で初めて先制されましたが、逆転勝ちできました。今季はプリンスリーグなどで先制される場面が比較的多く(笑)点を取られてもしっかりやれば返せるということを選手たちも実感していたと思います。もちろん先制されるということは良くないので、直していかなければなりません。

最終節の大宮戦からは日本代表に選ばれている選手たちが抜けましたが、出場した他の選手たちが大きな力を発揮してくれました。この試合、ゴールは1点だけでしたが、攻撃で自分たちのスタイルも作れましたし、守備もしっかりゼロに抑えることができました。

全国出場を決めてからは、今後のオプションなどを考え、いろいろと試すことができましたが、出場機会を得た選手にとって自信になったと思いますし、逆にそれまで出ていた選手には、しっかりやらないといけないという刺激にもなっただしょう。

このところ立ち上がりには点を取られることが多いので、全国大会ではその点をしっかりとすること。攻撃ではフィニッシュの部分での積極性や迫力を出していければと思います。粘り強さがだいぶ出てきて、負けないチームになってきています。あとは点が取れば、もちろん優勝を目指していますし、高円宮杯の出場権もかかっていますから、モチベーション高く戦っていきます。



10 MF 鈴木 秀史

Suzuki Hidefumi

3年 / 加須昭和中学校
テクニックに優れ、チームをまとめるキャプテン

みんなで勝ち続けたい

関東3位という結果でしたが、関東予選では日本代表選手がいなくても試合でも勝てたということチームが一つになったと思います。

2次リーグ4試合目の川崎戦で先制されましたが、チームは負けている雰囲気ではなく、いけると思っていました。昨年の大会で川崎に負けてその後全国に行けなかったことを聞いていたので、絶対に勝とうと話していました。

全国大会ではプリンスリーグで勝てなかった関東のチームに借りを返したいですし、高円宮杯の出場権も得て、このチームでもっと長く試合をするために勝ち続けたいです。

集団生活が長く続くので、選手同士のコミュニケーションを大事にしてみんなで頑張る雰囲気を作っていきたいと思っています。



1 GK 柴田 大地
Shibata Daichi
 2年 / FC四日市
 積極的な守備でゴールを守る守護神



3 DF 山地 翔
Yamaji Sho
 2年 / 狭山JrユースFC
 クレバーなディフェンスで一對一に強い



5 DF 高垣 大樹
Takagaki Daiki
 3年 / 浦和レッズJrユース
 豊富な運動量で動き回る守備的MF



7 MF 山崎 家光
Yamazaki Iemitsu
 3年 / 浦和レッズJrユース
 スピードを生かしたドリブル突破



2 DF 丸山 和男
Maruyama Kazuo
 3年 / 坂戸ディプロマツ
 対人プレーに強いディフェンスと積極的なオーバーラップ



4 DF 金子 大樹
Kaneko Daiki
 3年 / 坂戸ディプロマツ
 ヘディングの競り合いには絶対負けない



6 MF 矢部 雅明
Yabe Masaaki
 3年 / 浦和レッズJrユース
 戦術眼に優れているMF



8 MF 山田 直輝
Yamada Naoki
 2年 / 浦和レッズJrユース
 的確なプレーで中盤を支配する

全国大会出場までの歩み(関東予選)

関東予選 2次リーグAグループ

- 5 / 26 7 - 0 杉並FC
得: 原川 2, 山田, 山崎 2, 山地, 林
- 6 / 2 2 - 0 甲府ユース
得: 宮川, 山田
- 6 / 3 6 - 0 OSA
得: 宮川, 林, 山地, 山崎, 鈴木, 原川
- 6 / 10 2 - 1 川崎ユース
得: 林, 宮川
*グループ 2位以上が決定
- 6 / 17 1 - 0 大宮ユース
得: 林
*グループ 1位が決定

関東予選順位決定戦準決勝

- 6 / 23 2 - 2 千葉ユース
(PK 4 - 5)
得: 宮川 2

関東予選 3位決定戦

- 6 / 24 3 - 2 横浜FMユース
得: 山崎, 永田, 林

2次リーグ、4連勝で早々に決定

関東からは9チームが全国へ出場。6チーム×4グループの予選リーグを行い、各グループ上位2チームにまず出場権が与えられ、残り1枠は、各グループ3位チームによる9位決定戦で争われる。

レッズユースは、2次リーグの序盤、無失点で3連勝したが、昨年と同じ経緯の後、終盤の2試合でJ1の下部組織に勝てず、グループ3位になるという苦い経験があった(その後9位決定戦でも敗れ全国出場を果たせず)。今回は、4戦目で川崎フロンターレユースに逆転勝ちし、グループ2位以上を確定。さらに5戦目も大宮アルディージャユースに競り勝ち、グループ1位となった。



関東3位で全国大会出場を決めた浦和レッズユース(6/24/横浜FMユース戦)

らに5戦目も大宮アルディージャユースに競り勝ち、グループ1位となった。

グループ1位チーム同士で行われる順位決定戦の準決勝ではジェフ千葉ユースと同点の末、PK負け。3位決定戦で横浜F・マリノスユースを下し、関東3位となった。

序盤3試合を着実に勝利



関東2次リーグ序盤はJ1クラブの下部組織との対戦がなく、無失点3連勝。着実に



9 FW 宮川 貴司

Miyagawa Takashi

3年 / ヴェルディユース
左右両足からの強力なシュートが魅力



12 DF 松本 昂大

Matsumoto Kota

3年 / 浦和レッズJrユース
読みの鋭いディフェンス



14 FW 原口 元気

Haraguchi Genki

1年 / 浦和レッズJrユース
左サイドにおいて独特なリズムでドリブル突破



16 GK 井部 晃貴

Ibe Koki

2年 / 上尾FC
空中戦に強いGK



11 FW 林 容平

Hayashi Yohei

3年 / 狭山JrユースFC
独特のリズムでゴールを狙うストライカー



13 MF 永田 拓也

Nagata Takuya

2年 / 浦和レッズJrユース
豊富な運動量とスピードに乗ったドリブル



15 DF 濱田 水輝

Hamada Mizuki

2年 / Santa Clara Sporting Ruckus
一対一に強く、積極的なディフェンス



17 FW 武富 尚紀

Taketomi Naoki

2年 / 浦和レッズJrユース
前線で動き回りゴールを狙う

勝点と得失点差を稼いだ。口火を切ったのは杉並FC戦の前半10分、原口元気のゴールだった(=写真)

川崎に昨年の雪辱、逆転勝ち

正念場となったのは2次リーグ4戦目の川崎ユース戦。実は昨年も3連勝の後、川崎ユースと対戦し、敗れている。今回も前半28分にCKから大会初失点を喫したが、後半11分に林容平



のゴールで同点。その5分後、宮川貴司が決勝ゴールを挙げ(=写真)逆転勝ちした。この時点でAグループ2位以上を確定した。

大宮に競り勝ち、Aグループ全勝



第5戦は大宮ユースとのグループ1位争い。ペースをつかみながら点が取れなかったが、後半30分、矢部雅明のパスを林容平(=写真左)が叩き込み、これが決勝点となった。大宮とは全国

大会で再び顔を合わせる可能性もある。

横浜FMユースを下し、関東3位

順位決定戦準決勝で千葉ユースに敗れた。先に2点を奪われ、後半37分から追いつく粘りを見せたがPK負け。翌日の3位決定戦では逆に後半11分までに3点を先行する展開(=写真)。その後、2点を返されたが、1点差を守りきり、関東3位となった。





18 MF 高橋 峻希

Takahashi Shunki

2年 / 浦和レッズJrユース
攻守に渡り豊富な運動量でチームを支える



20 DF 菅井 順平

Sugai Jumpei

2年 / 浦和レッズJrユース
的確な声でディフェンスラインをまとめるリーダー



22 GK 中村 隼

Nakamura Hayato

1年 / 武南ジュニアユースFC
堅実な守備でゴールを守る



24 FW 阪野 豊史

Sakano Toyofumi

2年 / 三郷JrユースFC
フィジカルが強く、ドリブルからのシュートが魅力



19 MF 石沢 哲也

Ishizawa Tetsuya

1年 / 浦和レッズJrユース
広い視野を持ち中盤を支配する



21 MF 池田 涼司

Ikeda Ryoji

2年 / 浦和レッズJrユース
思い切りの良いプレーでチームを盛り上げる



23 FW 岸 幸太郎

Kishi Kotaro

2年 / 浦和レッズJrユース
センスあふれるプレー



25 MF 田仲 智紀

Tanaka Tomonori

2年 / 浦和レッズJrユース
テクニックと広い視野で中盤を支配する司令塔

第31回日本クラブユースサッカー選手権(U-18)大会

主催 (財)日本サッカー協会、
日本クラブユースサッカー連盟

期日 7月27日(金)~8月5日(日)

会場 Jヴィレッジ、三ツ沢公園球技場(準決勝、決勝)

方式

グループリーグ

4チーム×6グループでリーグ戦を行う。

順位は勝点(勝ちに3、引き分けに1)得失点差、総得点、当該チーム同士の対戦成績、抽選の順で決定する。

試合時間は40分ハーフ。

決勝トーナメント

グループリーグの結果、各グループ1位の6チーム、および各グループ2位の6チームのうち成績上位2チーム、計8チームが決勝トーナメントに進出する。

各グループ1位の6チームに順位をつける。順位は、勝点、得失点差、総得点、抽選の順で決定する。ただし、得失点差と総得点は各グループ最下位チームとの成績を除外する。

各グループ2位の2チームについても同様に順位をつける。

試合時間は45分ハーフ。ただし同点の場合は10分ハーフの延長を行い、さらに決しない場合はPK方式で勝敗を決める。

出場チーム(グループ分け)

< Aグループ >

浦和ユース / 大分ユース / 愛媛ユース / 神戸ユース

< Bグループ >

京都ユース / 鹿島ユース / 名古屋ユース / 柏ユース

< Cグループ >

磐田ユース / 三菱養和 / 福岡ユース / 仙台ユース

< Dグループ >

千葉ユース / 横浜FMユース / C大阪ユース / HondaFC

< Eグループ >

F東京ユース / G大阪ユース / 札幌ユース / 大宮ユース

< Fグループ >

広島ユース / 塩釜FC / 新潟ユース / 湘南ユース

*「ユース」はすべてJクラブの下部組織

大会スケジュール

7月27日(金) 代表者会議

7月28日(土) グループリーグ

7月29日(日) グループリーグ

7月30日(月)

7月31日(火) グループリーグ

8月1日(水) 10:30 / 14:00 準々決勝

8月2日(木)

8月3日(金) 16:00 / 19:00 準決勝

8月4日(土)

8月5日(日) 18:00 決勝

入場料 準決勝、決勝のみ有料

大学生以上1,000円、高校生以下500円

その他 優勝および準優勝チームは高円宮杯 第18回全日本ユース(U-18)選手権大会に、日本クラブユースサッカー連盟代表チームとして出場する。

レッズユースのグループリーグ

7/28 10:30 vs 神戸ユース(P11CH3)

7/29 15:00 vs 愛媛ユース(P11CH1)

7/31 13:00 vs 大分ユース(P11CH3)